

逼迫する鉱物資源需給の 解決に向けた技術創成と 立命館大学



立命館大学では、「21世紀の持続可能で豊かな社会の構築」に貢献する研究の推進に組織的に取り組んでいます。今回は、材料研究拠点形成の取り組みについてのシンポジウムを立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)主催で開催させていただきます。

今日の先端技術にはレアアース、レアメタルと呼ばれる希少資源が不可欠であり、こういった鉱物資源は日本経済の行方を左右すると言っても過言ではありません。しかし、現在日本はこれらのすべてを海外からの輸入に依存しています。一方、国内には「都市鉱山」と呼ばれる位、廃品に含まれる希少資源が溢れています。それらを抽出するリサイクル技術はまだ十分に確立されていません。

このような状況は日本だけでなく、多くの先進国に共通しており、技術面のみならず政策面でも新たなパラダイムシフトが求められています。

当日は、レアアース、レアメタルをめぐる本学の関連研究の紹介、若手研究者のポスターセッション、企業の活動紹介などを通じ、希少資源のみならず、地球上の資源を枯渇させない技術を中心に考えていく場としたいと思います。

皆様のご来場を心からお待ちしております。

学校法人立命館総長

立命館グローバル・イノベーション研究機構長 川口 清史

Event Guide

2010年度 立命館グローバル・イノベーション研究機構 材料研究拠点シンポジウム

「逼迫する鉱物資源需給の 解決に向けた技術創成と立命館大学」

日時 2011年 3月3日(木) 13:00~17:20 (交流会17:30~19:00)

会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 5F 大会議室

■第一部 世界の動向

基調講演:「ヨウ素のパワー 〜レアメタルを用いないカップリング反応〜」

立命館大学薬学部薬学科 教授 北 泰行

■第二部 立命館大学での取組み

講演:「調和構造制御によるレアメタル有効活用材料の創成」

立命館大学理工学部機械工学科 教授 鮎山 恵

講演:「ガラス用研磨材酸化セリウムの使用量低減技術」

立命館大学理工学部機械工学科 教授 谷 泰弘

ポスターセッション: 若手研究者による最新の研究成果紹介

■第三部 企業活動紹介

講演:「希少金属の資源問題への企業の動向と取組み」

三菱商事株式会社 自動車関連事業ユニット

リチウムイオン電池材料・資源事業チーム 部長代理 太田 辰夫 氏

交流会



会場へのアクセス

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

ローム記念館 5F 大会議室

滋賀県草津市野路東1-1-1

JR南草津駅 下車 バス約10分

※駐車スペースに限りがございますので、なるべく公共交通機関のご利用をお願いいたします。

お申し込み: 裏面申し込み書にてFAX送信いただくか、下記メールアドレスに、お名前、所属、連絡先をご記入の上お申し込みください。

連絡先: 立命館大学 理工リサーチオフィス

R-GIRO事務局

Tel: 077-561-2655 Fax: 077-561-2633

E-mail: r-giro@st.ritsume.ac.jp

※お申し込み多数の場合、会場定員(200名)に達した時点で申し込みを締め切らせて頂きますので、予めご了承下さい。お申し込み多数によりご参加頂けない場合のみ、ご連絡させていただきます。

5th
R-GIRO
symposium

主 催: 立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)

協 賛: 独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションサテライト 滋賀

社団法人関西経済同友会、社団法人関西経済連合会

京都環境ナノクラスター (中核機関: 財団法人京都高度技術研究所)

滋賀銀行、一般社団法人ネオマテリアル創成研究会

後 援: 近畿経済産業局、滋賀県

立命館創始140年・
学園創立110周年記念



※送信間違いの無い様、ご留意下さい。

申込締切日：2011年2月25日（金）必着

FAX:077-561-2633

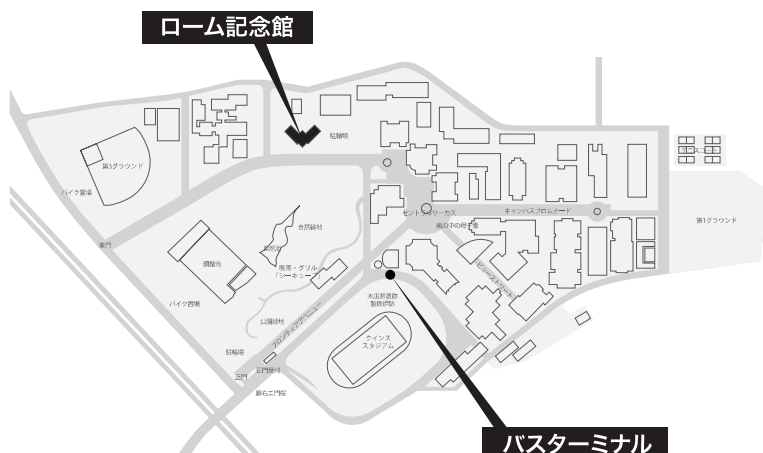
R-GIRO材料研究拠点シンポジウム

参加お申し込み書

お名前		
ご所属		
お役職		
ご住所	〒 —	
Tel		
Fax		
E-mail	@	
交流会	ご出席	ご欠席

ご記入いただきました個人情報は、立命館大学R-GIROシンポジウムの運営管理のみに利用させていただきます。お申し込みいただいた方には、立命館大学理工リサーチオフィスが開催するイベントに関するご案内を送付させていただくことがあります。但し、ご要請があればすみやかに中止いたします。

会場へのアクセス



京阪 中書島駅	直行便バス	約30分 平日15往復／土曜日5往復（日祝は運行しません。）
JR 大津駅	直行便バス	約25分 平日16往復（土日祝は運行しません。）
JR 大阪駅	JR	約50分
JR 京都駅	JR	約20分
JR・近鉄 奈良駅	JR・近鉄 （京都駅経由）	約60分
JR 三ノ宮駅	JR	約70分
JR 南草津駅		近江近鉄バス 約10分 「立命館大学行き」 または 立命館大学経由 「飛鳥グリーンビル行き」

立命館大学びわこくさつキャンパス

連絡先：立命館大学 理工リサーチオフィス R-GIRO事務局
TEL:077-561-2655 FAX:077-561-2633
E-mail:r-giro@st.ritsumei.ac.jp

2010 年度 立命館グローバル・イノベーション研究機構 材料研究拠点シンポジウム

「逼迫する鉱物資源需給の解決にむけた技術創成と立命館大学」

開催日時：2011 年 3 月 3 日（木） 13：00～17：20 （交流会 17：30～19：00）

会 場：立命館大学 ローム記念館 5F 大会議室
（滋賀県草津市野路東 1-1-1）

参 加 費：無料

主 催：立命館グローバル・イノベーション研究機構（R-GIRO）

協 賛：独立行政法人科学技術振興機構 JST イノベーションサテライト滋賀、
社団法人関西経済同友会、社団法人関西経済連合会、
京都環境ナノクラスター（中核機関：財団法人京都高度技術研究所）、
滋賀銀行、
一般社団法人ネオマテリアル創成研究会

後 援：近畿経済産業局、滋賀県

プログラム

第一部（世界の動向）

13:00～13:10 開会挨拶

立命館グローバル・イノベーション研究機構 機構長代理 村上 正紀

13:10～13:50 基調講演「ヨウ素のパワーーレアメタルを用いないカップリング反応ー」

立命館大学 薬学部薬学科 教授 北 泰行

13:50～14:05 ー 休憩 ー

第二部（立命館大学の取組み）

14:05～14:35 講演「調和構造制御によるレアメタル有効活用材料の創成」

立命館大学 理工学部機械工学科 教授 飴山 恵

14:35～15:05 講演「ガラス用研磨材酸化セリウムの使用量低減技術」

立命館大学 理工学部機械工学科 教授 谷 泰弘

15:05～16:30 ポスターセッション「立命館大学研究者による研究発表」

ショートプレゼンテーションおよびポスター展示

第三部（企業活動紹介および産学官交流）

16:30～17:20 講演「希少金属の資源問題への企業の動向と取組み」

三菱商事株式会社 自動車関連事業ユニット

リチウムイオン電池材料・資源事業チーム 部長代理 太田 辰夫氏

17:30～19:00 交流会（会費 2,000 円）

以上

2010 年度 立命館グローバル・イノベーション研究機構 材料研究拠点シンポジウム
「逼迫する鉱物資源需給の解決に向けた技術創成と立命館大学」

ポスターセッション

■ショートプレゼンテーション	15:05~15:45	@ローム記念館5階
■ポスター展示	15:45~16:30	@ローム記念館1階ロビー

- ① 薬学部 薬学科 助教 土肥 寿文
「ヨウ素を触媒とする合成化学の進展」
- ② 薬学部 薬学科 准教授 前田 大光
「平面状イオンから構成されるソフトマテリアルの創製」
- ③ 立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員 藤原 弘
「調和組織制御された純鉄の機械的性質」
- ④ 理工学研究科 博士後期課程 関口達也
「高強度・高延性化プロセスによる高機能チタン系材料の創製」
- ⑤ 立命館グローバル・イノベーション研究機構 ポストドクトラルフェロー 趙 子華
「Fatigue property of commercially pure titanium with harmonic microstructure」
- ⑥ 理工学部 機械工学科 助教 菊池 将一
「表面改質による鋼の高強度化」
- ⑦ 理工学部 機械工学科 助教 村田 順三
「複合粒子研磨法の開発」
- ⑧ 理工学研究科 博士前期課程 一廻穂 直総
「研磨パッドの表面処理による研磨特性の向上」
- ⑨ 理工学部 機械工学科 助手 張 宇
「隙間調整型研磨パッドの開発」
- ⑩ 立命館グローバル・イノベーション研究機構 ポストドクトラルフェロー 阿部 泰弘
「レアメタルフリーCu₂ZnSnS₄ 薄膜太陽電池の取り組み」
- ⑪ 理工学研究科 博士前期課程 Andres Ginno Lizano
「Recovery of Metals by Using an Electric Dual Layer」
- ⑫ 生命科学部 生物工学科 准教授 三原 久明
「微生物を用いたレアメタル回収」
- ⑬ 立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究員 亀井 敬史
「レアアース資源確保に向けた包括的技術・政策戦略―鍵を握る”トリウム”」

以上